

## Reader's VIEW

## 2019 Vol.1 へのご意見・ご感想

このコーナーでは、編集部寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。

\*『VIEW21』教育委員会版のバックナンバーは「ベネッセ教育総合研究所」ウェブサイト (<https://berd.benesse.jp>) でご覧いただけます。

◎特集の「要点整理」に書かれた甲南女子大学・村川雅弘教授の解説は、とても分かりやすいものでした。カリキュラム・マネジメントと聞くと、何か新しいことを始めなければならないと思う人が多い中、「限られた資源で最大限の教育効果を得るためには、学校教育目標に照らし合わせて、授業や行事、会議などを見直すことが必要」という指摘には、どの教員にとっても「何かできそう」という思いを持てるのではないかと感じました。ただ、教員の負担軽減のみを念頭に置き、「忙しくて十分な時間を取れないから」という理由で精選するのではなく、活動の意義をしっかりと見直した上で対処することが重要だと考えます。(青森県)

◎特集の「要点整理」を読み、各校のカリキュラム・マネジメントを教育委員会がどのように後押ししていけばよいかがよく分かりました。現在行っている研修や事業を、本県が示している教員の資質・能力の向上に関する指標等を意識した内容とし、その上で学校全体の指導力向上に結びつけたいと思いました。(青森県)

◎特集で紹介されていた様々な図や資料が、非常に参考になりました。「要点整理」にあったカリキュラム・マネジメントの「構成要素」「段階」「PDCA サイクル」を基に、学校のカリマネから教職員一人ひとりのカリマネに広げていきたいと思えます。さらに、新潟県教育委員会の「CMN28 (カリキュラム・マネジメント新潟スタイル)」に関する資料が非常に具体的だったので、「CMN チェックリスト」を活用したいと考えています。(北海道)

◎特集では、栃木県那須塩原市の「単元デザイン構想メモ」が大変参考になりました。子どもに育てたい資質・能力を意識した授業づくりが、教員の学力観を転換させることにつながり、それに伴い、授業や学びをどう捉えるかに変化を与えることができるでしょう。本シートを、ぜひ各校に紹介したいと思えます。(千葉県)

◎特集の千葉県柏市立柏第三小学校の記事で、データを活用して教育活動の課題を捉え、「根拠に基づく」カリキュラム・マネジメントを推進した取り組みが印象に残りました。何事にも根拠を示さなければ、理解を得られず、人は動きません。その意味で、あらゆる場面でデータを示し、そのデータを基に改善を図っていく活動は素晴らしいと思いました。ぜひ、参考にします。(東京都)

◎特集の大分県豊後高田市立香々地小学校の事例には、子どもの集中力のある午前中に国語・社会・算数・理科の授業を行うなどの具体例が示されていました。そうした工夫の積み重ねが、学力向上につながるのだと思いました。(愛媛県)

◎特別企画「あと半年で何をすべき? 小学校英語」にあった『高い英語力よりも指導力』を繰り返して伝えるという言葉が印象に残りました。今、教員自身の英語力向上を目指した研修が目白押しで、それが教員の負担になっており、働き方改革に逆行しているとも言えます。教える者の基本である「指導力」こそが、どの教科の指導でも重要だと、改めて感じました。(北海道)

◎連載「Leader's VIEW」で語られた香川県善通寺市の森正司教育長の教育方針・施策が、参考になりました。特に、保育所・幼稚園から中学校まで、15年間を見据えた教育総合計画を立てている点が素晴らしいと思えます。その成果として人口減少が抑制できていることは、他の自治体にも参考になると思えます。(茨城県)

◎連載「新課程 GOOD プラクティス」の「英語4技能の指導」に、大変興味を引きつけられました。中学校での実践ではありますが、今後の小学校の英語指導にも活用できそうです。できれば、もう少し詳しい指導内容が示されると、さらに分かりやすかったのにと思えます。(岩手県)

## 編集後記

「主体的・対話的で深い学び」の取材を通して感じたのは、「何のために学ぶのか」を大人が子どもたちに伝えることの大切さです。学ぶことで、将来像を描き、自立した人生を送り、何よりも生きる希望を持つことができること。立場や状況によって、答えのかたちは様々かもしれませんが、こうしたことを、大人の姿を通して示せるような場が、学校の内外に生まれるようにと願わずにはいられません。(久保木)

## VIEW21 教育委員会版 2019 Vol.2 2019年9月20日発行/通巻18号

発行人 山崎昌樹  
 編集人 春名啓紀  
 発行所 (株)ベネッセコーポレーション  
 ベネッセ教育総合研究所  
 印刷製本 研精堂印刷(株)  
 編集協力 (有)ペンダコ  
 執筆協力 二宮良太  
 撮影協力 荒川 潤、ヤマグチイック  
 イラスト協力 斉藤明子

◎お問い合わせ先  
 フリーダイヤル 0120-350455  
 〒700-8686  
 岡山市北区南方3-7-17